
戸田市自治基本条例 施行記念フォーラム

～資料～

平成26年11月9日（日）

戸田市

次 第

開 会 午後 1 時 30 分

・市長あいさつ

第一部 (40 分程度)

① 自治基本条例の制定に至るまで

・事務局、元自治基本条例検討市民会議会長からの報告

② 基調講演

「自治基本条例とみんなの暮らし」

講師：戸田市自治基本条例アドバイザー 松下啓一氏 (相模女子大学教授)

第二部 (70 分程度)

ワークショップ

「みんなでつながるテーブルトーク」

～『わたしにとっての自治基本条例』について語り合おう

司会：ワークショップ・ファシリテーター／住民参加・協働支援コンサルタント 今井邦人氏

① グループワーク (30 分程度) ※1 グループ 6 人

・グループ内で 1 分間の自己紹介

・各自『つながるきっかけカード』へ記入、その後グループ内で発表 (各自 1 分)

・グループ内で意見交換

② 伝えたいこと・聞きたいこと (40 分程度)

・各グループで一番盛り上がった意見・伝えたい意見を 1 分以内で発表していただきます

閉 会

戸田市自治基本条例制定に至る道のり

市民講座（学ぶ期間）

市民と共に進める自治基本条例制定作業のスタートとして、自治基本条例制定の背景や自治基本条例とは何かなど、自治基本条例の基礎的知識の習得等を目的とした基礎講座（平成24年7月）と応用講座（平成24年8月）を実施した。

市民協働ワーキング（体験する期間）

1 内容

市民と職員で構成する市民協働ワーキングメンバーが、以下の4つのテーマを題材とし、実際に現場を見ることで自治をつくっていくための共通の要素やヒントを抽出することを目的に実態調査を実施した。

- ①「地域コミュニティによる地域活動」
- ②「温かいまなざしの中での地域による子育て」
- ③「高齢者の孤立化防止」
- ④「地域の防災の仕組み」

実態調査は、生活課題の解決に向けて活動している方々、町会、市民活動団体等にヒアリングを行う方法で実施した。

2 実施期間 平成24年9月～平成25年1月

市民会議（創る期間）

1 内容

市民と職員で構成する自治基本条例検討市民会議委員が、市民協働ワーキングの結果を基に、条例内容を検討した。

- ①自治の目指す姿、市民、議会、行政はどうあるべきかなどについて検討
↓
- ②中間報告
↓
- ③条例骨子案作成
↓
- ④P I（パブリック・インボルブメント）活動
（パブリック・インボルブメント：ここでは、市民会議の委員が各種市民団体等の活動場所に向いて、直接、説明したり意見交換などを行ったりする活動を指します）
↓
- ⑤条例素案作成

2 実施期間 平成25年2月～平成26年3月

講師プロフィール

松下 啓一 氏

1951年生まれ

相模女子大学 人間社会学部
社会マネジメント学科 教授



1975年中央大学法学部卒業。

横浜市役所に26年勤務（総務、環境、都市計画、経済、水道等の各部局において、調査、企画、計画を担当。大学関係では、横浜市立大学大学院非常勤講師、関東学院大学人間環境学部非常勤講師を兼務）。退職後は、大阪国際大学法政経学部教授を経て、現職。

○担当科目

世界の環境問題、地方自治論

○専門分野及び関連分野

現代自治体論（まちづくり、NPO・協働論、政策法務）

○所属学会

自治体学会、日本NPO学会、コミュニティ政策学会

○主な著書

『自治の旅－民主主義の学校から』（共著）、『協働が変える役所の仕事・自治の未来－市民が存分に力を発揮する社会』、『自治基本条例の作り方』、『市民協働の考え方・作り方』、『協働社会をつくる条例』など。

○自治基本条例検討の支援自治体

上田市、新城市、焼津市、一宮市、小田原市、流山市など多くの自治体